



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社プロシップ
コード番号 3763 URL <https://www.proship.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 資史
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 資史 TEL 050-1791-3000
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	3,118	3.0	501	20.8	540	22.0	428	42.4
2024年3月期中間期	3,026	△7.0	415	△43.8	443	△42.6	301	△44.9

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 396百万円 (12.3%) 2024年3月期中間期 352百万円 (△39.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	34.72	34.65
2024年3月期中間期	24.46	24.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	9,904	7,376	72.8
2024年3月期	9,729	7,560	75.1

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 7,215百万円 2024年3月期 7,305百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	ー	0.00	ー	50.00	50.00
2025年3月期	ー	0.00			
2025年3月期（予想）			ー	52.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	7.1	1,900	16.4	2,000	6.5	1,400	3.7	113.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社では年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（中間期）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー 社 、除外 ー 社

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2025年3月期中間期	15,670,700株	2024年3月期	15,614,800株
2025年3月期中間期	3,276,645株	2024年3月期	3,300,214株
2025年3月期中間期	12,347,614株	2024年3月期中間期	12,309,698株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
中間連結会計期間	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	7
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
3. 補足情報	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社は、基本理念である「Speciality for Customer」のもと、高い専門性で顧客及び社会に貢献することを大切に事業を推進しております。現在は、固定資産管理ソリューションにおける専門性で、持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでおります。

当中間連結会計期間においては、主力製品である固定資産管理ソリューションの既存顧客に対するバージョンアップ対応、成長戦略と位置付けているインフラ業界向け大型案件の推進等により顧客のシステム投資需要に応じてまいりました。また、持続的な成長の実現に向け、未来の稼ぐ力を高めるため、人財と製品開発への積極的な投資を行ってまいりました。

その結果、当中間連結会計期間においては、売上高3,118百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益501百万円(同20.8%増)、経常利益540百万円(同22.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益428百万円(同42.4%増)となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①パッケージソリューション事業

パッケージソリューション事業においては、主力製品である固定資産管理ソリューションの既存顧客に対するバージョンアップ対応、成長戦略と位置付けているインフラ業界向け大型案件を推進すると共に、品質管理の強化及び生産性の向上によって売上原価の抑制に努めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は3,058百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益は494百万円(同22.4%増)となりました。

②その他事業

その他事業におきましては、主にソフトウェア製品の仕入販売及び運用管理等を行ってまいりました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は80百万円(前年同期比22.7%増)、営業利益は6百万円(同39.0%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産・負債・純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は7,962百万円となり、前連結会計年度末に比べ135百万円増加いたしました。これは主に、売掛金及び契約資産が711百万円減少したものの、現金及び預金が780百万円、仕掛品が10百万円増加したことによるものであります。固定資産は1,942百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円増加いたしました。

この結果、総資産は9,904百万円となり、前連結会計年度末に比べ175百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は2,112百万円となり、前連結会計年度末に比べ353百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が42百万円減少したものの、契約負債が503百万円増加したことによるものであります。また固定負債は415百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は2,528百万円となり、前連結会計年度末に比べ359百万円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は7,376百万円となり、前連結会計年度末に比べ183百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益428百万円、配当金の支払615百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は72.8%(前連結会計年度末は75.1%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は3,624百万円となり、前連結会計年度末に比べ790百万円増加いたしました。当中間連結会計期間の各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、1,445百万円(前年同期は1,013百万円の増加)となりました。これは主に、売上債権の減少711百万円、税金等調整前中間純利益621百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、125百万円(前年同期は70百万円の減少)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出104百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、529百万円(前年同期は576百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額612百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループでは、前連結会計年度末時点で見込んでいる当連結会計年度に売上計上予定の案件を商談の進捗度別に集計・精査して売上高を予測し、予定している投資や過年度の費用発生の推移等から当連結会計年度の費用を見込むことで連結業績予想を作成しております。

2025年3月期の連結売上高予想に対する当中間連結会計期間の売上高の進捗度は42.7%となっております。しかしながら、会計等に係る業務関連のシステム導入に関しては新年度からの稼働を望むユーザー企業が多く、特に国内の多くの企業の決算月が3月に集中していることから、当社グループの経営成績は3月の売上及び利益の計上が他の月と比較して高くなる傾向があります。また、第3四半期以降も引き続き、既存顧客に対するバージョンアップ対応、インフラ業界向け大型案件の推進等による売上及び利益の計上を見込んでおります。

以上のことから、2024年5月10日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,844,573	6,624,814
売掛金及び契約資産	1,732,877	1,021,431
仕掛品	129,722	139,990
貯蔵品	761	863
その他	118,597	175,380
流動資産合計	7,826,531	7,962,479
固定資産		
有形固定資産	61,665	54,310
無形固定資産		
ソフトウェア	262,492	329,677
その他	1,067	1,067
無形固定資産合計	263,560	330,745
投資その他の資産		
投資有価証券	1,241,273	1,209,060
その他	336,978	348,763
貸倒引当金	△552	△545
投資その他の資産合計	1,577,699	1,557,278
固定資産合計	1,902,925	1,942,334
資産合計	9,729,456	9,904,813

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	240,187	227,337
契約負債	709,632	1,212,664
未払法人税等	251,349	208,632
賞与引当金	93,758	226,767
役員賞与引当金	35,450	26,046
受注損失引当金	6,068	339
その他	423,181	211,145
流動負債合計	1,759,627	2,112,932
固定負債		
退職給付に係る負債	409,804	415,679
固定負債合計	409,804	415,679
負債合計	2,169,431	2,528,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	722,852	770,578
資本剰余金	716,410	759,889
利益剰余金	11,123,098	10,936,100
自己株式	△5,328,192	△5,290,123
株主資本合計	7,234,168	7,176,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,476	38,899
その他の包括利益累計額合計	71,476	38,899
新株予約権	254,380	160,857
純資産合計	7,560,025	7,376,202
負債純資産合計	9,729,456	9,904,813

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	3,026,778	3,118,911
売上原価	1,595,724	1,568,011
売上総利益	1,431,054	1,550,900
販売費及び一般管理費	1,015,326	1,048,908
営業利益	415,728	501,992
営業外収益		
受取利息	19,781	20,433
受取配当金	2,072	3,034
為替差益	2,323	189
投資有価証券売却益	1,873	17,618
その他	1,477	1,287
営業外収益合計	27,528	42,563
営業外費用		
保険解約損	—	3,900
営業外費用合計	—	3,900
経常利益	443,256	540,655
特別利益		
新株予約権戻入益	1,281	81,093
特別利益合計	1,281	81,093
税金等調整前中間純利益	444,537	621,748
法人税等	143,457	193,017
中間純利益	301,079	428,731
親会社株主に帰属する中間純利益	301,079	428,731

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	301,079	428,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,580	△32,576
その他の包括利益合計	51,580	△32,576
中間包括利益	352,660	396,155
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	352,660	396,155

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	444,537	621,748
減価償却費	62,710	47,625
賞与引当金の増減額(△は減少)	140,677	133,008
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,054	△9,404
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△109,200	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△6
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	29,644	5,875
受注損失引当金の増減額(△は減少)	1,632	△5,729
受取利息及び受取配当金	△21,854	△23,467
為替差損益(△は益)	△2,412	△286
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,873	△17,618
新株予約権戻入益	△1,281	△81,093
売上債権の増減額(△は増加)	199,849	711,445
棚卸資産の増減額(△は増加)	△56,289	△10,370
仕入債務の増減額(△は減少)	13,701	△12,850
契約負債の増減額(△は減少)	536,148	503,032
その他	△49,939	△208,410
小計	1,175,997	1,653,499
利息及び配当金の受取額	19,936	24,409
法人税等の支払額	△182,014	△232,270
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,013,918	1,445,638
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△20,937
投資有価証券の取得による支出	△115,260	△74,259
投資有価証券の売却による収入	111,906	78,579
有形固定資産の取得による支出	△8,050	△4,144
無形固定資産の取得による支出	△58,803	△104,589
敷金及び保証金の差入による支出	—	△1,714
保険積立金の解約による収入	—	1,196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,208	△125,868
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	83,023
自己株式の取得による支出	△50	△44
配当金の支払額	△576,945	△612,226
財務活動によるキャッシュ・フロー	△576,995	△529,247
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,412	286
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	369,126	790,808
現金及び現金同等物の期首残高	2,214,168	2,834,005
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,583,294	3,624,814

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、これによる中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、これによる前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額 (注) 1	中間連結損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ ソリューション事業	その他事業		
売上高				
外部顧客への売上高	2,979,704	47,073	—	3,026,778
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	18,680	△18,680	—
計	2,979,704	65,753	△18,680	3,026,778
セグメント利益	403,949	10,430	1,348	415,728

(注) 1. セグメント利益の調整額1,348千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自2024年4月1日至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額 (注) 1	中間連結損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ ソリューション事業	その他事業		
売上高				
外部顧客への売上高	3,058,000	60,911	—	3,118,911
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	19,675	△19,675	—
計	3,058,000	80,586	△19,675	3,118,911
セグメント利益	494,566	6,362	1,063	501,992

(注) 1. セグメント利益の調整額1,063千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当中間連結会計期間の受注状況を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
パッケージ	2,349,937	△11.6	2,697,249	△13.5
保守	953,500	△21.3	2,595,137	4.6
運用管理等	59,147	33.3	45,972	17.1
合計	3,362,585	△14.1	5,338,358	△5.3

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. パッケージには、ユーザー固有のカスタマイズを伴わないパッケージライセンスに係る受注も含んでおります。

3. 運用管理等には、商品受注を含んでおります。

②販売実績

当中間連結会計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	
	売上高(千円)	前年同期比(%)
パッケージ	1,978,502	0.5
保守	1,079,498	6.8
運用管理等	60,911	29.5
合計	3,118,911	3.0

(注) 1. パッケージには、ユーザー固有のカスタマイズを伴わないパッケージライセンスに係る売上も含んでおります。

2. 運用管理等には、商品売上を含んでおります。